

努力賞

大切な友だち

荒川区立ひぐらし小学校 三年

かま田 小もも

やなぎだ先生こんにちは。

わたしが、やなぎだくにお先生につたえたい本は、「三つのおねがい」です。

この本は、ゼノビアという、女の子が、けんかしちゃって、友だちが大事と分かって、なかなかおりするお話です。

この本にでてくる、ゼノビアは、とてもゆうきをもっている人です。わたしがこの本をえらんだきっかけは、「三つのおねがい」とかいてあったので、どんなことを、おねがいするのかと気になったからです。

わたしが、すきな場面は、三つあります。一つ目は、ゼノビアが、けんかをした男の子に、あやまろうと、けっしんしたところが、心に強くのこりました。わたしだったら、自分は、わるくないといつて、あやまりもしないと思います。

二つ目は、さいこの場面の、ゼノビアが、ともだちとは、なんなのかというのをわかって、なかなかおりしたところが、わたしの心にひびきました。三つ目は、ゼノビアの、あやまろうという気持ちと、ねがいよりも友だちが大事というのを、学んだことは、すごくいいなと思い、心にあたたかくのこりました。

わたしは、この本から、ゼノビアの心の強さを、かんじられました。その、ゼノビアの強い思いは、ゆうきからはじまったんだと思います。そのゆう

きは、強い心への道につながると思いました。そしてこの本は、とてもあたたかい気持ちになるし、友だちを大事にしようと思える本なので、ぜひ、この本をよんでみてください。

わたしは、これから友だちを、もっともっと、大事にしていきたいです。それと、ゼノビアは、自分から、けんかをうっていたので、わたしはこれから、自分からけんかをうらないようにしていきたいです。